

同時資料配布先：
経済産業記者会
学研都市記者クラブ

2014年12月5日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

CCS テクニカルワークショップ 2014

「CO₂貯留の環境影響評価に向けた取り組み」

開催について

二酸化炭素の排出削減策の実行可能なオプションとして CCS（二酸化炭素回収・貯留）は注目されており、世界では 10 件を超える大規模プロジェクトが実施されるようになってきました。CCS のさらなる普及と商用化を見据えると、CCS 実施の安全性を担保し、社会的信頼を得られるようにすることが重要です。このような状況を踏まえ、当機構では CO₂貯留の環境影響評価に関する研究成果を広く皆様にご紹介するため、以下の通り「CCS テクニカルワークショップ 2014」を開催する運びとなりましたのでご案内します。

本ワークショップにおいては、米国、英国における CO₂貯留の環境影響評価に向けた先進的なプロジェクトを主導する専門家の方々にご講演いただくと共に、当機構からも CO₂移行解析技術や海中 CO₂拡散シミュレーション技術など、CO₂貯留の安全性に関する取組みに焦点を当てて最新成果をわかりやすくご報告し、皆様との議論の機会をご提供したいと考えております。

1. 開催概要

日 程 2015年1月30日（金） 13:15～17:10（12:30 受付開始）
会 場 第一ホテル東京（新橋）5F「ラ・ローズ」
定 員 200名
参加費 無料
主 催 公益財団法人地球環境産業技術研究機構
共 催 経済産業省
言 語 日本語、英語（同時通訳有り）
U R L <http://www.rite.or.jp/news/events/2014/12/ccs2014.html>

2. プログラム

モデレーター： 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
海洋技術環境学専攻 教授 佐藤 徹

（敬称略）

時間	項目	演題（仮） 講演者名
12:30-	受付開始	
13:15-13:20	開会挨拶	山地 憲治 RITE 理事・研究所長
13:20-13:25	共催者 挨拶	永澤 剛 経済産業省 産業技術環境局 地球環境連携室長
13:25-13:30	趣旨説明	佐藤 徹 東京大学大学院教授

13:30-13:50	講演 1	CO ₂ 移行解析技術開発について 喜田 潤 RITE CO ₂ 貯留研究グループ 主任研究員
13:50-14:50	講演 2	The ZERT on-shore controlled release, lessons learned about monitoring methods, impacts and detection limits. ZERT プロジェクト: 陸域の人為的 CO ₂ 漏出実験によるモニタリング手法および検出限界と生態系影響について Lee Spangler Director, Energy Research Institute, Montana State University, USA
14:50-15:10		コーヒーブレイク & ポスターセッション
15:10-16:10	講演 3	The QICS Project. Outcomes and implications for the development of CCS QICS プロジェクト - 成果と CCS 開発におけるその意味 Jeremy Blackford Project Leader, QICS Project, Plymouth Marine Laboratory, UK
16:10-16:55	講演 4	漏出シナリオに基づく海中 CO ₂ 拡散シミュレーション技術開発 内本 圭亮・中島 崇裕 RITE CO ₂ 貯留研究グループ 主任研究員
16:55-17:05	総括	佐藤 徹 東京大学大学院教授
17:05-17:10	閉会挨拶	本庄 孝志 RITE 専務理事
17:30-		意見交換会 (会費制)

3. 参加登録

■ 申込方法

下記の参加申込記載事項を記入の上、E-mail にて ccs2014@rite.or.jp へお申し込みください。

■ 参加申し込み記載事項

- ①お名前 (漢字) : ②お名前 (かな) : ③会社名 (漢字) : ④会社名 (かな) : ⑤部署名 : ⑥役職名 :
⑦住所 [勤務先可] : ⑧お電話番号 : ⑨Email アドレス : ⑩意見交換会 (参加・不参加) :
⑪今後の関連イベント案内の送付 (可・不可) :

※当日は申し込み控え (E-mail の申込みプリント) をご持参ください。

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

※意見交換会へ参加される場合、会費 (3,000 円) を当日徴収させていただきます。

※取材を希望される報道関係者の方は、メールにプレス登録希望と記載をお願いします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

■ お申し込み先

CCS ワークショップ 2014 事務局

E-mail : ccs2014@rite.or.jp TEL : 06-6372-3053

お問い合わせ先：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 CO₂ 貯留研究グループ 中西、平井
TEL：0774-75-2309 E-mail：ccs2014@rite.or.jp

広報に関するお問合せ先：

同 企画調査グループ 大倉、辰巳
TEL：0774-75-2301 E-mail：pub_rite@rite.or.jp